

2018年度（平成30年度）

早稲田大学大学院政治学研究科
入学試験募集要項（9月入学）

修士課程／専門職学位課程
一般・社会人・1年制入学試験（外国学生含む）

早稲田大学

目 次

1. 募集課程	- 2 -
2. 募集人員	- 3 -
3. 募集・試験日程	- 4 -
4. 出願資格	- 4 -
5. 出願方法	- 5 -
6. 出願書類	- 11 -
7. 試験	- 14 -
8. 入学手続	- 16 -
特定国からの志願者に対する検定料免除措置制度	- 18 -

【出願の区分（国内出願・国外出願）について】

・国内出願者（日本国内居住者の場合）

出願時に日本国内に居住する場合は「国内出願」に該当します。
ただし外国籍の者で在留資格が「短期滞在」の場合は除きます。

・国外出願者（日本国外居住者の場合）

出願時に日本国外に居住する者が、海外より直接本学に出願する場合は、「国外出願」に該当します。国外出願の場合、来日せずに入学試験を受けることが可能です。

1. 募集課程

修士課程

専攻名	コース		学位
政治学専攻	政治学コース	現代政治研究領域	修士（政治学）
		政治思想・政治史研究領域	
		比較政治研究領域	
		国際関係研究領域	
		公共政策研究領域	
	ジャーナリズムコース（ジャーナリズム大学院）		修士（ジャーナリズム）

※ 政治学専攻では、「政治学コース」「ジャーナリズムコース」のコース別に募集を行います。

専門職学位課程

専攻名			学位
公共経営専攻 （公共経営大学院）	1年制	政策研究フォーカス	公共経営修士（専門職）
		政策実践フォーカス	
	2年制		

※ 公共経営専攻では、「1年制政策研究フォーカス」「1年制政策実践フォーカス」「2年制」のカリキュラム別に募集を行います。

<各専攻・コースについて>

政治学専攻

「政治学コース」では、修士課程での研究指導をより重層的、総合的で、柔軟なものとするために、教員別指導体制ではなく、「研究領域」別合同指導体制を実施しています。出願の際には志望する「研究領域」を志願票および研究計画書に記入していただき、審査の際、および入学後に所属する「研究領域」を決定する際に、参考意見として考慮されます。指導教員は、入学後に決定された「研究領域」に所属する教員との協議を経て決定されます。なお、「ジャーナリズムコース」においても、同様の合同指導体制をとっているため、指導教員は、入学後に、各コースの教員と協議して決定します。

■政治学コース

研究領域	主要な研究分野	研究の特徴
現代政治	現代政治分析、数理・計量分析、コミュニケーション、メディア	現代政治学の諸理論の探求と現代日本政治の分析、アメリカ・イギリスといった先進国の比較現代政治分析を行います。その中にはメディアやコミュニケーションの理論と分析も含まれます。
政治思想・政治史	政治思想、政治思想史、憲法、日本政治思想史、日本政治史、西洋政治史	西洋および日本での政治思想・政治史と現代の規範的政治理論探求を行います。政治史や政治思想に密着した憲法も同時に学ぶことが大きな特徴です。
比較政治	比較政治、地域研究	世界各地域の政治を、比較と歴史の視座から分析します。世界の中の日本という視点をもって政治の現在に実証を含む多様なアプローチを試みます。
国際関係	国際政治、国際関係	国際政治、国際関係論、国際政治史、外交史を専門として、国際関係の理論や歴史を学び、現代の国際関係の分析を行います。国際関係をグローバルな視座でとらえ、歴史的、思想的、理論的に探求していく研究方法が特徴です。

公共政策	行政学、自治行政、国際行政、政治制度、行政法	行政学、自治行政学、国際行政学などを通じて、ローカルからグローバルなレベルにわたって、行政の理論や政策の分析を、行政法、政治機構・制度などの研究とも関連させながら探求します。
------	------------------------	---

■ジャーナリズムコース

研究領域	主要な研究分野	研究の特徴
ジャーナリズム	ジャーナリズム思想・歴史・技法、マス・メディア及びマス・コミュニケーション理論、マス・メディア倫理・法制、ジャーナリストのための国際関係・政治・経済、科学・技術・社会・文化等学問領域の理論と分析	現代のジャーナリズム、マス・コミュニケーション現象を分析・解明するための基礎理論および方法を習得し、併せてそれらを応用・実践する。また、国際関係、政治・経済・科学技術等専門的なジャーナリストに必要な知識を探求します。

公共経営専攻（通称：公共経営大学院）

公共経営専攻では、理論的研究成果を背景としながらも実践的思考に基づく大学院教育を施し、社会における幅広い分野の高度専門職業人の養成を目指します。演習の目標を理論と現実の融合を目指す政策提言に置き、リサーチペーパーの執筆によって目標が達成されるよう研究指導を行います。入学後、出願書類として提出した「研究計画書」または「政策提案計画書」の内容を基にして、専任教員の中からメイン・アドバイザーが1名、サブ・アドバイザーが1名指名されます。

■1年制フォーカス制について

1年制は以下のとおりフォーカス制度を設けています。出願時に入学を希望するフォーカスを選択してください。出願後の希望フォーカスの変更は認められませんのでご注意ください。

フォーカス名	概要
政策研究フォーカス	週1回の研究指導の履修を毎学期必須とし、自らの研究テーマに基づいて研究を行い、最終成果物としてリサーチペーパーを作成します。
政策実践フォーカス	科目履修を中心とし幅広い専門知識を身につけます。指導教員の研究指導の履修および出席を必須とせず、月1回程度の指導のもとプロジェクトペーパー（政策提案）の作成を進めます。

※フォーカス制度詳細はWebサイトなどの大学院案内をご参照ください

2. 募集人員

研究科	専攻	コース	入学試験種類	募集人員※
政治学研究科	政治学専攻	政治学コース	一般入学試験	50名
			社会人入学試験	
	公共経営専攻 (公共経営大学院)	ジャーナリズムコース (ジャーナリズム大学院)	一般入学試験	60名
		—	一般入学試験(2年制) 1年制入学試験 (政策研究フォーカスまたは政策実践フォーカス)	50名

※募集人員は4月・9月入学試験の総計
※ジャーナリズムコースはジャーナリズム特別A0入学試験の募集人員も含めた総計

※複数の専攻、コース(公共経営専攻の1年制・2年制含む)を併願することはできません。

※ジャーナリズムコース社会人入学試験は「ジャーナリズムコース特別 A0 入学試験」にて実施しています。
詳細はジャーナリズムコース特別 A0 入学試験要項をご確認ください。

3. 募集・試験日程

日程		
出願期間		2018 年 2 月 23 日(金)～3 月 6 日(火)
第 1 次試験	・書類選考 ・英語能力審査	提出された出願書類により審査を実施
第 1 次試験合格者発表		2018 年 4 月 20 日(金) 15:00
第 2 次試験スケジュール発表		2018 年 4 月 25 日(水) 15:00
第 2 次試験 (面接試験)		2018 年 5 月 12 日(土)・13 日(日) 5 月 19 日(土)・20 日(日) 上記のうち当学が指定する時間・会場 ※面接時間は、政治学専攻で各回 20 分、 公共経営専攻で各回 30 分を予定しています
第 2 次試験合格者発表		2018 年 5 月 25 日(金) 10:00

※入学志願票に記載の住所宛てに、受験票を郵送いたします。国外出願の方へは Email にて受験票を送付いたします。第 1 次試験合格者発表日の 1 週間前になっても受験票が届かない場合は、ただちに当研究科事務所(TEL03-3203-6150、gsps-admission@list.waseda.jp)へお問い合わせください。受験票は、入学後の学生証交付まで必要となりますので、大切に保管してください。

4. 出願資格

一般入学試験

以下のいずれかの条件に該当する者

- ① 大学を卒業した者、または入学までに卒業見込みの者
- ② 大学評価・学位授与機構により、学士の学位を授与された者、または入学までに授与される見込みのある者
- ③ 外国において通常の課程による 16 年の学校教育を修了した者、または入学までに修了見込の者
- ④ 大学に 3 年以上在学し、または外国において学校教育における 15 年の課程を修了、または入学までに修了見込みの者で、当研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者。
- ⑤ 文部科学大臣の指定した者。
- ⑥ 研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学までに 22 歳に達する者。

※中国の大学の専科(3 年制)の卒業者には出願資格はありません。ただし、専科を卒業後に本科を卒業して 16 年の学校教育を修了した場合は出願を認めます。

※出願資格⑥に該当する者は、事前に個別審査を受け、出願許可を得る必要があります。個別審査希望の者は以下の期限までに申請書類を提出する必要がありますので、必ず事前に事務局までご連絡ください。申請期限後の書類提出は認められません。

【申請期限】: 2018 年 1 月 12 日(金)まで

政治学専攻 政治学コース 社会人入学試験

上記一般入学試験出願資格のいずれかの条件に該当し、2018 年 9 月 21 日現在で、それを満たしてから 2 年 6 ヶ月以上経過する者。

公共経営専攻 1 年制入学試験

上記一般入学試験出願資格のいずれかの条件に該当し、2018 年 9 月 21 日現在で、それを満たしてから 3 年以上

の社会人経験（実務経験）を有する者。

出願時に、本入試要項記載の出願資格を満たすために大学入学資格取得見込の証明書を提出された方につきましては、入学手続き時に、その資格取得を証明する書類を提出してください。入学試験に合格されても、入学までにその資格取得の証明書を提出できない（大学入学資格を満たすことができない）場合は、入学を認められませんので注意してください。

身体機能の障がいにより、受験・就学に際して特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、当研究科事務所にお問合せください。また、大きな病気やけがのため、受験に支障をきたす恐れがある場合、あるいは出願後にそのような状態になった場合でも、速やかにお問合せください。

5. 出願方法

（１）出願区分

	国内出願	国外出願
対象	出願時に日本国内に居住する者	出願時に日本国外に居住する者
資格確認方法	志願票に記載された「現住所」から判断する	

（２）出願期間

出願期間
2018年2月23日(金)～3月6日(火)

- 国内出願の方は、出願締切日の消印の付いた願書まで受け付けます。
- 国外出願の方は、出願締切日までに研究科に到着した願書まで受け付けます。
- 出願は郵送に限ります。直接持参による出願書類の提出は認めません。

（３）出願方法

国内出願者：市販の封筒（角型2号サイズ）に出願書一式を封入し、所定の「出願書類提出用宛名ラベル」を封筒の宛名面に貼付のうえ、必ず[簡易書留郵便]で送付してください。

なお、締切日直前に送付する場合は、[簡易書留・速達便]で送付してください。

国外出願者：「国際スピード郵便（EMS）」等で送付してください。宛先は所定の「出願書類提出用宛名ラベル」に記載されている内容を転記してください。

（４）出願上の注意

- ・ 国内出願の方は、出願締切日の消印の付いた願書まで受け付けます（締切日消印有効）。
- ・ 国外出願の方は、出願締切日までに到着した願書のみ受け付けます（締切日郵送必着）。国や地域によっては配達に時間を有するところがありますので、時間に余裕を持って送付してください。
- ・ 出願締切日を過ぎた書類は一切受け付けません。
- ・ 出願書類の到着の有無に関する問い合わせにはお答えできません。書類到着の確認は、郵便局の追跡サービス（国外出願の場合はEMS等の追跡サービス等）を利用の上、確認を行なってください。
- ・ 出願書類に不備や不足書類があった場合は、受験資格を失うことがあります。必要書類が揃っているか十分に確認の上、出願をしてください。また当学から連絡があった時はすみやかにその指示に従ってください。
- ・ 出願の際に当学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。
- ・ 一度提出した書類の返還は原則として行いません。ただし、再発行が不可能な書類に限り返還を行います。希望する場合は必ず所定の「提出書類返還依頼書」を記入し、出願書類願書と一緒に同封送付してください。「提出書類返還依頼書」が願書と一緒に送付同封されていない場合は、書類の返還は行いません。

- ・ 出願後に志願票に書かれた住所・電話番号・Eメールアドレス等を変更した場合は、速やかに当研究科事務所に連絡をしてください。志願票に書かれた情報を変更したことが原因で当学からの連絡が届かなかったとしても、当学は一切の責任を負いません。
- ・ 提出できる書類は、日本語または英語表記のものに限ります。日本語または英語以外の言語で作成された証明書等は、大使館または国で認可された公証役場等で公証印を受けた翻訳（日本語または英語）を添付してください。
- ・ 在日大使館で翻訳公証を行っていない国・地域もあります（例：中国など）。その場合は、本国で翻訳公証を受ける必要がありますので、余裕をもって書類の手配を行ってください。

（５）入学検定料

① 納入期間

納入期間
2018年2月16日(金)～3月6日(火)

② 納入金額（専攻によって納入金額が異なります）

専攻	国内出願	国外出願
政治学専攻	30,000円	5,000円
公共経営専攻	35,000円	

③ 納入方法

<国内出願者の納入方法>

A. コンビニエンスストアでの支払い

- ・ 入学検定料は、「コンビニエンスストアでの入学検定料振込方法」（p.9）に従い、所定のコンビニエンスストア店頭にある情報端末で支払手続を行なってください。（支払に当たっては、Webでの事前登録が必要となります。ご注意ください。）

第一選択	政治学研究科
第二選択	2018年9月入学
第三選択	次の第四選択へ
第四選択	（受験希望の課程・入試種別を選択してください）

- ・ 支払終了後、「入学検定料取扱明細兼受領書」の収納証明書を切り取って志願票の裏面に貼付し、出願書類とともに提出してください。
- ・ 検定料納入期間は上記記載の期間内のみです。それ以外の期間での支払いはできません。
- ・ 支払は、土・日・祝日を問わず、24時間いつでも可能です。ただし、支払期間開始日は10時00分から、支払期間最終日のWebサイトでの申込みは23時00分まで、情報端末での支払い手続きは23時30分までの利用となります。
- ・ コンビニエンスストアでの支払に際しては、家族・知人が代理で手続する場合でも、必ず情報端末に志願者本人の情報を入力するようにしてください。

B. クレジットカード

クレジットカードでの支払いに際しては、パソコンよりインターネット上の支払いサイト（<https://e-shiharai.net/card/>）にアクセスをして所定申込手続を完了させる必要があります。詳細は、支払方法に関する案内（p.10）を確認してください。

- ・ 支払いは、土日・祝日を問わず、24時間いつでも可能です。ただし支払期間最終日は23時までの利用となります。
- ・ 支払いに使用するカードは受験生本人以外の名義でも構いません。ただし、家族・知人が代理で手続きをする場合でも、「基本情報」には必ず志願者本人の情報を入力するようにしてください。
- ・ e-shiharai.netの「カテゴリ選択」では、以下のとおり選択してください。

第一選択	政治学研究科
第二選択	2018年9月入学
第三選択	次の第四選択へ
第四選択	（受験希望の課程・入試種別を選択してください）

- ・支払い終了後、決済完了が表示された Web ページを印刷し、Application Form にクリップ留めして提出してください。
- ・検定料支払は原則としてコンビニエンスストアでの支払またはクレジットカードの支払ですが、どちらの支払も困難である場合には、事前に当研究科事務所までご連絡ください。
(Tel:03-3203-6150、E-mail: gsps-admission@list.waseda.jp)

＜国外出願者の納入方法＞

A. クレジットカード・中国オンライン決済

- ・クレジットカード・中国オンライン決済での支払いに際しては、パソコンよりインターネット上の支払いサイト (<http://e-shiharai.net/card/>) にアクセスをして所定申込手続を完了させる必要があります。
- ・詳細は、支払方法に関する案内 (p. 10) を確認してください。
- ・支払いは、土日・祝日を問わず、24 時間いつでも可能です。ただし支払期間最終日は 23 時までの利用となります。
- ・支払いに使用するカードは受験生本人以外の名義でも構いません。ただし、家族・知人が代理で手続きをする場合でも、「基本情報」には必ず志願者本人の情報を記入するようにしてください。
- ・e-shiharai.net の「カテゴリ選択」では、以下のとおり選択してください。

第一選択	政治学研究科
第二選択	2018年9月入学
第三選択	次の第四選択へ
第四選択	(受験希望の課程・入試種別を選択してください) ※「国内出願」と「国外出願」では検定料が異なります。 選択の際はご注意ください。

※支払い終了後、決済完了が表示されたホームページを印刷し、入学志願票にクリップ留めして提出してください。

B. 外国送金

下記の要領に従い、金融機関より外国送金してください。送金手続き後、銀行所定の外国送金申請書のコピーを入学志願票にクリップ留めして提出してください。

＜外国送金要領＞

送金種類	電信送金 (Telegraphic Transfer)
支払方法	通知払 (Advise and Pay)
振込銀行手数料	依頼人負担 (Payer's Responsibility)
円為替手数料	受取人負担 (Payee's Account)
送金額	入学検定料に円為替手数料を加えた金額 7,000 円 (検定料 5,000 円 + 円為替手数料 2,000 円) ※現地金融機関において別途手数料が必要となる場合、この金額とは別に窓口で手続時にお支払いください。
送金目的	入学検定料 (Screening Fee)
送金先銀行名	三菱東京 UFJ 銀行 (The Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ, Ltd.)
支店名	江戸川橋支店 (Edogawabashi Branch)
口座番号	0035967FHE ※口座番号欄には数字 7 文字とアルファベット 3 文字を記入してください。
受取人	早稲田大学 (Waseda University)
銀行住所	〒112-0014 東京都文京区関口 1-48-13 (1-48-13, Sekiguchi Bunkyo-ku Tokyo 1120014, Japan)
スウィフトコード	BOTKJPJT
備考	必要連絡事項 (Message to Payee, if any) には受験者本人の氏名 (Applicant's name) の前に "31GSPS" を必ず記入してください。

① 入学検定料に関する注意事項

- ・以下のケースに該当する場合は、検定料が免除になる場合があります。詳細は政治学研究科研究科事務所までお問い合わせください。
- *本大学大学院修士課程または専門職学位課程（以下「修士課程等」という）修了者が、修士課程等修了と同時に

に、修了した研究科と同一の学院に属する研究科の博士後期課程に入学を志願する場合

*修士課程等修了者が、引続き次年度に修了した研究科と同一の学院に属する研究科の一般科目等履修生となり、その後引続き修了した研究科と同一の学院に属する研究科の博士後期課程に入学を志願する場合。ただし、修士課程等入学後4年以内に入学を志願する場合に限ります。

*経済協力開発機構（OECD）の開発援助委員会（DAC）が発行する、「Least Developed Countries」「Other Low Income Countries」の認定国に居住し、かつ該当国の国籍を有する者。

詳細は巻末のご案内を参照し、必要書類を提出してください。

*当研究科への入学後に国費外国人留学生となる可能性がある場合。

該当者は出願前に留学センター（e-mail: in-cie@list.waseda.jp）までご相談ください。

- 入学検定料の納入は、日本国内または国外より出願前に必ず行なってください。
- 入学検定料を納入していない場合、出願は受け付けません。
- 一度受理した書類およびお支払いいただいた入学検定料は、原則として返還いたしません。ただし、以下のケースに該当する場合は、入学検定料に限り返還いたします。該当する方は政治学研究科事務所までご連絡ください。

*入学検定料を所定額より多く支払った。

*入学検定料を支払ったが、出願書類は提出しなかった。

*入学検定料を支払ったが、出願締切後に書類を提出した。

*入学検定料を支払い、書類を提出したが、書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった。

※なお、クレジットカードにより入学検定料を納入された場合や、日本国外の金融機関口座へ入学検定料を返還する場合、返還に伴い発生する手数料等は志願者の負担となります。

早稲田大学 コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法

24時間
支払可能

1 Webで事前申込み



画面の指示に従って必要事項を入力し、
お支払いに必要な番号を取得してください。

<https://e-shiharai.net/>

携帯サイトの未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。

※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、もう一度入力し直して
新たな番号を取得してお支払いください。支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、
自動的にキャンセルされます。

当学HP
からも
アクセス
できます！



2 コンビニでお支払い

●入学検定料はATMでは振り込みできません。必ずレジでお支払いください。
●店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。



3 出 願

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学志願票の所定欄に貼る。

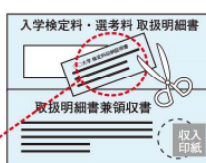
●セブン-イレブン
「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。
「チケット等払込領収書」は保管。



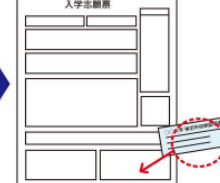
●サークルK・サンクス
「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。
「オンライン決済領収書」は保管。



●ローソン ●ミニストップ ●ファミリーマート
「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。
「取扱明細書兼領収書」は保管。



切り取った「収納証明書」を入学志願票の所定の欄に貼付。



入学志願票に貼付する「収納証明書」部分

※「収納証明書」を貼付けする際には、願本体の注意書きに「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載されている欄はご使用にならないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

■注意事項

- 出願期間を入試要項でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機の場合は23:30までです。
- 一度お支払いされた入学検定料は、店頭では返金できません。

●入学検定料の他に事務手数料が別途かかります。(全コンビニ共通)

事務手数料	入学検定料が5万円未満	432円(消費税込)
	入学検定料が5万円以上	648円(消費税込)

※事務手数料は変更になる場合があります。

「入学検定料納入」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはサイトでご確認ください。

<https://e-shiharai.net/>

早稲田大学 クレジットカード・銀聯カード・アリペイでの検定料支払方法

24時間・365日いつでも支払いOK！これが簡単・便利なシンプルスタイル！

クレジットカード・銀聯カード・アリペイを
利用して検定料のお支払いが可能です。



Web申込み／オンライン決済

出願

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。



<https://e-shiharai.net/card/>

携帯サイトの未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。



当学HP
からも
アクセス
できます！

1. トップページ

お支払い先（大学または大学院）を選択してください。

2. 学校選択

学校一覧から、「早稲田大学・大学院」を選択。

3. 学校案内

注意事項等を確認のうえ、個人情報の取扱について同意してください。

4. カテゴリ選択

第1～第4選択を選択して「次へ」をクリック

5. 基本情報入力

申込者本人の基本情報を入力してください。
支払い方法を選択し、「次へ」をクリック

クレジットカードの場合

支払いに利用するカード番号(16桁)を入力してください。
※American Expressの場合は15桁
※お支払いされるカードの名義人は申込者本人でなくても構いません。

全入力内容が表示されますので、
よろしければ「上記の内容で確定する」をクリック

「申込内容照会」にアクセスし「照会結果」を印刷する
携帯電話をご利用の場合は、プリンタのある環境で申込内容照会を行ってください。

銀聯カード・アリペイの場合

それぞれの専用画面に推移します。
画面の指示に従って、支払いを完了してください。

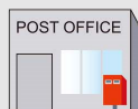
「申込内容照会」にアクセスし「照会結果」を印刷する



印刷した「申込内容照会結果」と必要書類を、出願用封筒に入れる。



郵便局から
郵送にて出願。



【注意事項・よくあるお問合せ】

- 出願・申請書類に記載されている支払い期間内であれば、いつでもお支払い可能です。
支払い期間を入試要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は日本時間の23:00までにカード決済を完了させてください。
- 銀聯カード・アリペイで決済する場合は、パソコンからお申し込みください。
- カードの名義人は、申込者本人でなくても構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。
- 申込内容照会は、e-shiharaiサイトの「申込照会」にて、お申し込み時に通知された【受付番号】【生年月日】を入力すると表示されます。
- カード審査が通らなかった場合は、カード会社へ直接お問い合わせください。
- 検定料の他に事務手数料が別途かかります。

■手数料について

検定料の他に事務手数料が別途かかります。

検定料金額	事務手数料
～ 29,999 円	555 円
30,000 円 ～ 49,999 円	987 円
50,000 円 ～ 69,999 円	1,420 円
70,000 円 ～ 99,999 円	1,800 円
100,000 円 ～ 199,999 円	2,037 円
200,000 円 ～ 299,999 円	2,571 円
300,000 円 ～	4,320 円

クレジットカード・銀聯カード・アリペイでの検定料納入についてのお問い合わせは、サイトのよくある質問をご確認ください。

6. 出願書類

- ・出願する専攻や入学試験、国籍によって出願書類が異なります。ご自身の該当する区分に応じて出願書類を作成してください。
- ・[所定用紙]フォーマットは当研究科ホームページからダウンロードしてください。(A4 サイズの用紙に印刷してください) 黒または青のボールペンでご記入ください。

<http://www.waseda.jp/fpse/gspes/applicants/admission-literature/>

全員→全員提出 ○→要提出 △→対象者のみ要提出 (備考を確認してください)

No.	提出物	政治学専攻		公共経営専攻		備考	所定用紙
		日本国籍	外国籍	日本国籍	外国籍		
①	入学志願票	全員					○
②	卒業(見込)証明書ならびに成績証明書	全員					
③	研究計画書または政策提案計画書	全員				紙媒体および電子ファイルどちらの提出も必須	○
④	英語能力試験スコアカード	○		△		公共経営専攻 1 年制出願者は不要	
⑤	所属機関の許可書等	△		△		政治学専攻 →社会人入学試験出願者のみ 公共経営専攻 →1 年制出願者のみ	△
⑥	1 年修了希望届	△		-		政治学専攻 社会人入学試験 1 年修了希望者のみ	△
⑦	学位取得後の活動計画	-		○			○
⑧	経歴活動記録	-		△		公共経営専攻 1 年制出願者のみ	○
⑨	日本語能力試験または日本留学試験いずれかのスコアカード	-	△	-	△	日本の大学を卒業した者は不要	
⑩	外国人留学生質問票	-	○	-	○		○
⑪	経費負担計画書	-	○	-	○		○
⑫	パスポートのコピー	-	○	-	○	顔写真掲載ページ	
⑬	在留カードのコピー または住民票の写し	-	△	-	△	外国籍の者かつ国内出願者のみ	
⑭	提出書類返還依頼書	△					○
⑮	Web 会議システム利用面接試験に関する同意書	△				国外出願者のうち Web 会議システム面接利用希望者	○
⑯	出願書類チェック表	全員					○

次の資料は、必要に応じて当研究科ホームページからダウンロードして入手してください。

- ・出願者報告書(政治学専攻社会人入学試験受験者のうち、該当する者のみ)
- ・推薦書(公共経営専攻 1 年制入学試験受験者のうち、該当する者のみ)
- ・出願書類提出用宛名ラベル
- ・入学志願票記入上の注意および記入コード
- ・出身大学学校コード
- ・国籍コード
- ・「早稲田大学学費ローン」について

以下の①～⑦の書類を提出すること。

① 入学志願票(所定用紙)

- ・「入学志願票記入上の注意および記入コード」(別資料)を参照のうえ、ご記入ください。
- ・入学検定料支払い終了後、「入学検定料取扱明細兼受領書」の収納証明書を志願票の裏面に貼付して提出してください。
- ・カラー写真を 2 枚ご用意ください。裏面に氏名をボールペンで記入し、1 枚は所定の箇所へ貼り付けてください。もう 1 枚はのりづけせず、クリップで留めてください。
- ・写真は、タテ 4cm×ヨコ 3cm(枠無し)上半身、正面、無帽、無背景で、願書受付日前 3 ヶ月以内に撮影し

たカラー写真とします（入学手続き時に同一の写真が 3 枚必要となります。ネガを保存する等、同一の写真を準備できるようにしてください）。また、眼鏡の有無、髪型等、試験場において間違われるような写真は不可とします。

② 卒業（見込）証明書ならびに成績証明書

- ・必ず原本を提出してください。
- ・証明書はすべて日本語または英語で書かれたものを提出してください。日本語または英語で発行できない場合は、翻訳文を作成し、翻訳文の内容が正しいことを証明する公証書（原本）とあわせて提出してください。
- ・編入学を経て卒業した者は、卒業時と編入学前の両方の成績証明書を提出してください。
- ・中国の大学を卒業し、学位を取得した者は、卒業証明書のほかに「学位取得証明書」の原本も提出してください。
- ・中国の大学を卒業された方は、中国政府学歴認証センター（または中国政府指定学歴・学籍認証センター日本代理機構）が発行する「学歴認定報告書（英語版）」「成績認証報告書（英語版）」による提出も認めます。
- ・大学院修了（見込）者は、学部および大学院それぞれについて提出してください。
- ・卒業見込の場合は、卒業見込証明書および大学の学部入学から現在までの全学期の成績が記載された成績証明書を提出し、合格後、当研究科への入学手続を行う際に、卒業（修了）証明書および最終的な成績証明書を必ず提出してください。

③ 研究計画書または政策提案計画書（所定用紙）

- ・当研究科所定用紙に従って記入してください。
- ・政治学専攻、公共経営専攻 1 年制政策研究フォーカス、2 年制は研究計画書を、公共経営専攻 1 年制政策実践フォーカスは政策提案計画書を作成してください

<提出物>

次の①および②をそれぞれの方法で提出してください。

①【紙媒体】 1 部

自身で作成した上記 doc ファイルをプリントアウトし郵送してください。

②【電子ファイル】 1 部

自身で作成した上記 doc ファイルを PDF ファイルに変換したもの、または doc ファイルを以下の専用メールアドレス宛てにメール添付により送信してください。

【専用メールアドレス】：gsps-admission@list.waseda.jp

- ・ファイル名は次のとおりです。

「お名前(ローマ字)_researchplan.pdf/doc」(例：waseda_taro_researchplan.pdf)

- ・メールの送信内容は次のとおりです。

メールのタイトルは「2018 年度 9 月入試 研究計画書送付」としてください。

メールの本文には、氏名、研究テーマを必ず記入してください。

⑤ 英語能力試験スコアカード（※公共経営専攻 1 年制出願者は提出不要）

- ・「TOEFL (PBT または iBT)」 「TOEIC」 「IELTS」 のいずれかのスコアカードを提出してください。
- ・有効期限は test date が出願締切日からさかのぼって 2 年以内のもの。コピー可。複数提出可。
- ・母国語が英語である者、英語圏の高等教育機関（大学以上）を英語によるカリキュラムで卒業した者は、スコアカードの提出は不要です。

※TOEFL スコアを提出する者は、必ず Examinee Score Report を提出してください

※TOEIC スコアを提出する者は、本人に送付される公式認定証を提出してください。TOEIC 団体特別受験制度による IP スコア等の提出は認められません。

⑤ 所属機関の許可書等

（政治学専攻 政治学コース社会人入学試験志願者 および公共経営専攻 1 年制コース志願者のみ）

政治学専攻政治学コース社会人入学試験を受験する者は以下の書類を提出してください。

A. 許可書または推薦書（書式自由）

以下のいずれか一通を厳封して提出してください。

- ① 所属機関より 1 年以上勤務を離れて修学することの許可を得られる者は、その旨記載された許可書
- ② 所属機関より推薦を得られる者は、推薦書

B. 出願者報告書（所定用紙）

前項A. の許可書または推薦書を提出できない場合は、出願者の資質を評価しうる者（三親等以内の親族

を除く)による出願者報告書を厳封のうえ、1通のみご提出ください。

C. 自己推薦書(書式自由)

前項A. の許可書または推薦書、B. の出願者報告書のいずれも提出できない場合は、自己推薦書(書式自由)を提出してください。

公共経営専攻 1年制コースを受験する者は以下の書類を提出してください。

- A. 所属機関より 1 年以上勤務を離れて修学することの許可を得られる者は、そのことが記載された許可書(書式自由)
- B. 所属機関より推薦を得られる者は、推薦書(書式自由)
- C. 所属機関からいずれの書類も入手できない場合は、所定用紙による推薦書

現在の自分について、よく知る人物に推薦書を書いてもらってください。用紙はホームページに掲載しているものに限りです。A 4 用紙 1 枚・1,000 字程度で推薦書を書いていただき、推薦者の自筆で署名捺印の上、厳封してもらってください。推薦者は、大学教員、現在および過去の職場の上司・同僚、知人などが該当します(独立した生計を営む者に限りません)。

⑥ 1年修了希望届(書式自由)(政治学専攻 政治学コース社会人入学試験志願者のうち1年修了希望者のみ)

政治学専攻政治学コースでは、社会人入学試験受験者のうち、所属機関からの証明書付で申し出がある者、または研究機関での在籍時に優れた研究実績があると認められた者について、1年修了制度を設けています。1年修了希望者は、社会で行なった業績に関する書類とともに、出願時に1年修了希望届を提出してください。なお、出願期間以外、および入学後の提出は認められません。また、1年修了の可否、ならびに修士課程修了後、博士後期課程への続けての出願可否については、第二次試験合格者発表の際に通知いたします。

【提出物】

- 1. 1年修了希望届(書式自由)
- 2. 研究業績審査願(所定用紙)
- 3. 業績報告書(各業績の概要書(書式自由))
- 4. 所属機関からの証明書(ある場合のみ)

(※注意) 原則として、業績は活字媒体のものとし、主要業績を添付すること。報告可能な業績は、入学前3年以内のものに限る。

＜備考：1年修了者の博士後期課程進学要件について＞

- ・所属機関からの証明書付で申し出があった場合：博士後期課程へ続けて出願することはできません。
- ・研究機関での在籍時に優れた研究実績があると認められた場合：博士後期課程へ続けて出願することができます。

⑦ 学位取得後の活動計画(所定用紙) ※公共経営専攻出願者のみ

- ・学位取得後の活動計画を記入してください。(字数制限：所定フォーム 2 枚まで)

⑧ 経歴活動記録 ※公共経営専攻 1年制出願者のみ(所定用紙)

- ・これまで社会人としての活動の中で、研究計画に関連する“活動領域”を 4 項目選定し、それぞれのテーマ、業務内容、自己分析、培われた能力を記入してください。

⑨ 日本語能力試験・日本留学試験のスコアカード ※外国籍の者のみ

- ・日本以外の国籍の者は、日本国際教育支援協会の実施する「日本語能力試験 N1(旧試験では 1 級)」の合格証明書もしくは、日本学生支援機構の実施する「日本留学試験」のスコアカード(260 点以上)を、当研究科に出願時に提出してください。その際、合否結果通知書などスコアのわかる書類を必ず提出してください。
※有効期限指定なし。コピー可、複数提出可。

⑩ 外国人留学生質問票 ※外国籍の者のみ(所定用紙)

- ・学歴欄は、通学した全ての教育機関(小学校、非正規課程、語学学校等を含む)について、年代順に記入してください。

⑪ 経費負担計画書 ※外国籍の者のみ(所定用紙)

- ・所定用紙に、当学への留学に必要な経費(修士課程 2 年分の学費及び生活費を含む総費用)をどのように負担するのかについて、日本語または英語で記入してください。

※志願者本人の署名を忘れないようにしてください。経費負担計画書の「政府またはその他財団

(Government/sponsoring agency)」の欄に記入された方は、給付金額および給付期間を明示した奨学金の給付に関する証明書を提出してください。

⑫ パスポートのコピー ※外国籍の者のみ

・パスポートの顔写真が掲載されているページのコピーをご提出ください。

⑬ 在留カードのコピーまたは住民票の写し ※外国籍の者のうち、国内出願者のみ

・国内出願者(在留資格が「短期滞在」の者は除く)は、居住する区・市役所等で発行される有効な在留カード(表・裏両面)のコピーまたは住民票(国籍・在留資格・在留期間・在留期間満了日・在留カード等番号が記載されたもの)の写しを提出してください。国外出願者は、パスポートの顔写真掲載ページのコピーのみを提出してください。

⑭ 提出書類返還依頼書 ※対象者のみ(所定用紙)

・再発行が不可能なものに限り、当学は出願書類を返還いたします。「提出書類返還依頼書」に再発行が出来ない書類とその理由を明記して、他の出願書類と一緒に送付してください。当学が確認を行い、再発行が不可能だと判断したもののみ、返還をいたします。公証書、成績証明書、語学能力証明書に関しては、一切返還は行いません。なお返還には2〜3ヵ月要しますので、予めご了承ください。

⑮ Web 会議システム利用面接試験に関する同意書

・政治学専攻政治学コース/公共経営専攻国外出願者のうち、面接試験方式に Web 会議システムを利用した面接試験を選択する場合必ず提出してください。面接試験に関する詳細は「7. 試験」より確認してください。

⑯ 出願書類チェック表

出願書類提出の際には所定の「出願書類チェック表」で確認し、出願書類と一緒に提出してください。

7. 試験(修士・専門職学位課程共通)

(1) 選考方法・合格者発表

【第1次試験(書類選考)に関して】

提出された出願書類により選考します。

【第2次試験(面接試験)に関して】

(1) 大学が指定する会場・日時に実施いたします。変更は認められません。

(2) 集合場所・日時は早稲田キャンパス3号館10階政治経済学術院事務所前掲示板およびWebにて発表いたします。Webによる発表は下記URLからご覧いただけます。

<https://www.waseda.jp/fpse/gspss/tag/admissions/>

(3) 面接時間は、政治学専攻では各回20分、公共経営専攻では各回30分を予定しています。

【国外出願者向け：面接試験方法・会場について(重要)】

国外出願者向けの面接方法はコースにより異なります。志願するコースの案内のとおり手続等を行ってください。

※いずれの場合も大学が指定する日時に実施いたします。会場・日時の変更は認められません。また、やむを得ない事情により面接方式、会場などの変更が生じる場合があります、予めご了承ください。

■政治学専攻政治学コース/公共経営専攻

来日の上、早稲田大学にて実施する対面の面接試験、または本学の指定する Web 会議システムを利用した面接試験を選択していただきます。出願時に志願票の「面接試験希望会場」欄において希望する面接試験方式をひとつ選択してください。面接方法を決定する際に考慮します。選択にあたっては以下の注意事項を必ずご確認ください。

○来日の上実施する面接試験について

・面接地へ渡航する際の在留資格等の認可については、当学は一切保証できません。必ず入国管理局に確認し、各自の責任において出願してください。

○Web 会議システムを利用した面接試験について

・Web 会議システムを利用した面接試験においては、志願者ご自身のインターネット環境、PC や音声機器等を使用する必要があります。ご自身がこれらの機器を利用可能な状況にあることを必ず別紙「Web 会議システム利用面接試験要領」にて確認の上、出願してください。

・Web 会議システムを利用した面接試験においては大学が指定する以下の日程において事前の接続テストを行います。接続テストを受けない面接試験の実施は認められませんのでご注意ください。

接続テスト日程
2018年4月23日（月）～27日（金）、または 5月7日（月）～11日（金）のいずれか

・接続テストや試験当日において、接続環境や機材環境その他不測の事態により面接試験の実施が困難と判断される場合は欠席とみなすことがあります。この点を十分理解いただいた上でご出願ください。

■政治学専攻ジャーナリズムコース

以下の面接予定地の中から面接試験会場を選択していただきます。志願票の「面接試験希望会場」欄において、希望する面接試験会場をひとつ選択してください。面接場所を決定する際に考慮します。ただし、やむを得ない事情により、場所の変更が生じる場合もありますので、予めご了承ください。なお、面接試験会場の変更に伴う、受験生の不便・費用その他の個人的損害については、当研究科では何ら責任を負いません。なお、面接地へ渡航する際の在留資格等の認可については、当学は一切保証できません。必ず入国管理局に確認し、各自の責任において出願してください。

※ジャーナリズムコースでは Web 会議システムを利用した面接試験は選択できません。予めご了承ください。

【政治学専攻ジャーナリズムコース 面接試験予定地】

■ 東京（早稲田大学 早稲田キャンパス） ■ 北京 ■ 上海 ■ 台北（早稲田大学 台北オフィス） ■ サンフランシスコ（早稲田大学 サンフランシスコオフィス） ■ ニューヨーク（早稲田大学 ニューヨークオフィス）	■ シンガポール（早稲田大学 シンガポールオフィス） ■ ソウル ■ バンコク（早稲田大学 バンコクオフィス） ■ フランクフルト（早稲田大学 ヨーロッパセンター） ■ ジャカルタ
--	--

【合格者発表に関して】

- (1) 各試験の合格者発表・第2次試験の集合場所・日時は早稲田キャンパス3号館10階政治経済学術院事務所前掲示板およびWebにて行ないます。
- (2) Webによる合格者発表、第2次試験の集合場所・日時発表は下記URLからご覧いただけます。
<http://www.waseda.jp/fpse/gspss/tag/admissions/>

【受験票に関して】

国内出願者へは入学志願票に記載の住所宛てに発送いたします。

国外出願者へは入学志願票に記載のEmailアドレス宛に送付いたします。

第1次試験合格者発表日の7日前になっても受験票が届かない場合は、ただちに当研究科事務所（TEL:03-3203-6150、gspss-admission@list.waseda.jp）へお問い合わせください。受験票は、入学後の学生証交付まで必要となりますので、大切に保管してください。

【その他注意事項】

- ・国外出願者で、日本入国の際にビザが必要な国籍の方は、できるだけお早めに自国の日本大使館・領事館に受験のための「短期滞在査証（ビザ）」を申請してください。
- ・査証（ビザ）取得後、日本に入国し当研究科で受験をすることになります。なお、「短期滞在査証（ビザ）」取得手続きの際の「招へい人」「身元保証人」に早稲田大学になることはできません。
- ・査証（ビザ）がなくても短期来日できる国もあります。詳しくは、自国の日本大使館にお問い合わせください。

（2）試験にあたっての注意事項

早稲田大学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう、以下の注意事項を定めています。

早稲田大学入学試験の受験に際しては、この注意事項を熟読のうえ、真剣な態度で試験に臨んでください。

1. 出願の際に当学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為となる場合があります。
2. 次のことをすると不正行為となる場合があります。
 - ① カンニングをすること（試験時間中にカンニングペーパー・参考書等を隠し持つ・使用する、他の受験者の答案等を見る、他の人から答えを教わることなど）。

- ② 試験時間中に、答えを教えるなど他の受験者を利するような行為をすること。
 - ③ 試験時間中に携帯電話を身に付けること、使用すること。
 - ④ 試験時間中に携帯電話や時計の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすこと。
 - ⑤ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ⑥ 試験場において試験監督員等の指示に従わないこと。
 - ⑦ 志願者以外のものが志願者本人になりすまして試験を受けること。
 - ⑧ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。
- 3 ・不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。
 - ・試験監督員等が注意をする、または事情を聴くこと。
 - ・別室での受験を求めること。
 - 4 ・不正行為と認められた場合、次のような対応をとることがあります。
 - ・当該年度における当学の全ての入学試験の受験を認めないこと（入学検定料は返還しない）。
 - ・当該年度における当学の全ての入学試験の結果を無効とすること。

8. 入学手続

入学手続方法および手続に必要な書類の詳細については、合格者に交付される「入学手続の手引き」に掲載しますので、ここでは概略を説明します。

※入学手続に必要な書類は、合格者に対し、合格者発表後に発送します。

（１）手続期間

手続期間
2018 年 5 月 30 日（水）～6 月 15 日（金）

（２）手続に必要な書類等

- ① 当研究科が交付する書類
 - a) 「誓約書・保証書」兼「個人情報の取扱いに関する同意書」（本人・保証人とも自筆のものに限ります）
 - b) その他（入学手続用紙（学生個人記録）・学生証用写真カード 等）
- ② 出身大学の卒業（修了）証明書および成績証明書（出願手続の際、完全なものを提出している場合は再度提出する必要はありません）
- ③ 住民票
- ④ 学生証用カラー写真 1 枚（タテ 4cm×ヨコ 3cm 枠なし、入学志願票に貼付した写真と同一のものとします）
- ⑤ 学費・諸会費振込領収証のコピー
- ⑥ 預金口座振替依頼書・自動払込受付通知書
- ⑦ 在留資格認定書申請書類 ※1 （外国籍のうち、国外出願者のみ）

※1. 在留資格認定証明書申請について

当学へ入学を許可された外国学生は、在留資格「留学」を取得することができます。日本に入学するためには、まず日本国内の法務省入国管理局に「在留資格認定証明書」を申請する必要があります。早稲田大学では入学手続を完了した国外出願の外国人学生に限り、本人に代わって入国管理局に「在留資格認定証明書」の代理申請を行います。代理申請後、「在留資格認定証明書」が入国管理局より早稲田大学に交付されましたら、早稲田大学から申請者に郵送いたします。「在留資格認定証明書」を受け取った後は、パスポートとともに日本大使館、領事館で「留学」ビザ（査証）を申請してください。「在留資格認定証明書」の交付には1～2ヶ月の時間を要しますので、入学手続時に、必要書類を当研究科まで送付してください。必要書類は合格者に送付する「入学手続の手引き」をご参照ください。

（３）入学金・学費・諸会費

※入学金・学費・諸会費は別紙「2018 年 9 月入学者 入学金・学費・諸会費別表」よりご確認ください。なお、演習料・諸会費については改訂されることがありますので予めご承知おきください。

【早稲田大学入学試験実施に関して】

早稲田大学では、入学試験の実施に際し、以下のような対応をとることがあります。
あらかじめご了承ください。

◆受験環境について

可能な限り公平・静粛な受験環境の確保に努めますが、やむを得ず以下のような対応をとることがあります。

- ① 生活騒音（航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話の鳴動など）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行ないません。
- ② 試験中に携帯電話や時計などの音・振動などが発生し、発生源のかばんなどが特定できた場合、持ち主の同意なく試験監督員が試験教室外に持ち出し、試験本部で保管すること、あるいはかばんの中から携帯電話・時計等を取り出し鳴動停止の操作をすることがあります。
- ③ 机、椅子、空調、音響設備等の試験教室による違いは一切考慮しません。
- ④ 他の受験者が迷惑と感じる行為がある場合、別室受験を求めることがあります。

◆不可抗力による事故等について

台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

【個人情報の取り扱いについて】

当学では、出願時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学試験実施、合格者発表、入学手続およびこれらに付随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。

また、上記業務の全部又は一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。なお、個人が特定されないように統計処理した個人情報を、入学者選抜のための調査・研究の資料として利用します。あらかじめご了承ください。

【受験生の皆さんへお願い】

- ① 万全の体調で試験に臨めるよう、普段から手洗いやうがいを行ない、ご自身の健康には十分留意して下さい。
- ② 入学試験会場でのインフルエンザ等感染症への感染を防ぐため、必要に応じて各自でマスクを用意して下さい。
- ③ 咳・くしゃみが出る方はマスクを着用する、咳エチケットを守るなど、周囲の方への感染防止にご配慮下さい。

特定国からの志願者に対する検定料免除措置制度

[Screening fee waiver program for applicants from specified countries]

1. 概要／Outline

当学学部または研究科への入学を希望する出願者が、当学が指定する国に居住しかつ国籍を有する場合、本人からの申請に応じて検定料を免除します。

Applicants who wish to be admitted into an undergraduate or graduate school of Waseda University are eligible to apply for a screening fee waiver if they reside in one of the countries designated by Waseda University AND hold nationality of one of those countries.

2. 対象者／Eligibility

次の条件を全て満たす場合。The following conditions must be fulfilled:

1) OECD/DAC が発行する ODA 受給国リストに掲載される「Least Developed Countries」「Other Low Income Countries」の認定国に居住し、かつ該当国の国籍を有する方。ただし、居住国と国籍は同一の国である必要はありません。

* 「ODA 受給国リスト (2011～2013 年版)」参照。

* 日本国内に居住する場合は対象外とします。

1) The applicant must reside in one of the countries classified as "Least Developed Countries" or "Other Low Income Countries" in the list of ODA recipients as published by OECD/DAC AND hold nationality of one of those countries (the applicant's country of residence and nationality do not necessarily have to be identical).

* Please refer to the latest ODA Recipient List (2011 – 2013 edition).

* Applicants residing in Japan are not eligible.

2) 重国籍の場合は、いずれの国籍も前項の国に該当していることが必要です。

2) Applicants with dual nationality are only eligible if both nationalities are specified in the list of ODA recipients as published by OECD/DAC.

3. 手続／Procedures

当学学部または研究科を志願する際、出願書類として提出をもとめている検定料振込証明書（外国送金依頼書のコピーなど）の代わりに以下の書類を同封して申請してください。事後の申請はいかなる理由でも受け付けません。

When applying to an undergraduate or graduate school of Waseda University, please enclose the following documents with the other application documents instead of the certificate of payment for the screening fee (copy of the remittance form etc.). The application for the screening fee waiver program must be made along with the application for admission. Applications made afterward will not be accepted under any circumstances.

1) 検定料免除措置申請書（所定様式）

1) Application Form for Screening Fee Waiver

2) パスポートのコピー（本人に関する記載事項の全ての欄）

2) Copy of passport (including all details of the applicant)

* 本免除申請をする場合は、検定料を支払う必要はありません。なお、本免除申請を行う前に支払ってしまった場合には、検定料の返還は行いません。

* Applicants who apply for the screening fee waiver program are not required to pay the screening fee. However, if payment was made before the application for the screening fee waiver program, the screening fee will not be reimbursed.

* 万が一、申請者が本免除措置の対象とならない場合や、虚偽の申請があった場合は、その事実が判明した時点で出願自体を取り消すことがあります。

* In the event that the applicant is found to be ineligible for the screening fee waiver program or have made a false claim, the application for admission to Waseda University itself might be revoked immediately.

[ODA 受給国リスト（2011～2013 年版・抜粋）]

[2011-2013 List of ODA Recipients (excerpt)]

■Least Developed Countries * 48 カ国 (48 countries)

アフガニスタン、アンゴラ、バングラデシュ、ベニン、ブータン、ブルキナファソ、ブルンディ、カンボジア、中央アフリカ、チャド、コモロ、コンゴ民主共和国、ジブチ、赤道ギニア、エリトリア、エチオピア、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ハイチ、キリバス、ラオス、レソト、リベリア、マダガスカル、馬拉ウイ、マリ、モーリタニア、モザンビーク、ミャンマー、ネパール、ニジェール、ルワンダ、サモア、サントメ・プリンシペ、セネガル、シエラレオネ、ソロモン諸島、ソマリア、スーダン、タンザニア、東ティモール、トーゴ、ツバル、ウガンダ、バヌアツ、イエメン、ザンビア

Afghanistan, Angola, Bangladesh, Benin, Bhutan, Burkina Faso, Burundi, Cambodia, Central African Rep., Chad, Comoros, Democratic Republic of the Congo, Djibouti, Equatorial Guinea, Eritrea, Ethiopia, Gambia, Guinea, Guinea-Bissau, Haiti, Kiribati, Laos, Lesotho, Liberia, Madagascar, Malawi, Mali, Mauritania, Mozambique, Myanmar, Nepal, Niger, Rwanda, Samoa, Sao Tome and Principe, Senegal, Sierra Leone, Solomon Islands, Somalia, Sudan, Tanzania, Timor-Leste, Togo, Tuvalu, Uganda, Vanuatu, Yemen, Zambia

■Other Low Income Countries * 6 カ国 (6 countries)

ケニア、朝鮮民主主義人民共和国、キルギス、南スーダン共和国、タジキスタン、ジンバブエ
Kenya, D.P.R.Korea, Kyrgyz Rep., South Sudan, Tajikistan, Zimbabwe

2018年度 早稲田大学検定料免除措置申請書
Application Form for Screening Fee Waiver, 2018
Waseda University

申請日 : _____ 年 _____ 月 _____ 日
 Date of Application: Year Month Date

早稲田大学の検定料免除を希望する場合は、本様式を作成し、他の書類と一緒に提出してください。また、本申請をする場合、所定の検定料の支払は不要です。万が一、支払った場合でも、返金は出来ませんので注意してください。

If you would like to apply for a screening fee waiver, please submit this application form with the other required documents. If you apply for a screening fee waiver, you are not required to pay the screening fee. Please note that you will not be reimbursed under any circumstances once the payment of screening fee has been made.

出願学部・研究科 : _____

Name of the Undergraduate School/ Graduate School which you are applying

出願者氏名 : _____

Applicant's Name 姓(Family), 名(Given & Middle)

国 籍 1 : _____

Nationality 1

国 籍 2 : _____

Nationality 2 (for applicants with dual nationality)

現 住 所 : _____

Current Address

該当国/Eligible Countries *ODA 受給国 (54 recipient countries of ODA, listed below as of 2011-2013)

[Least Developed Countries]

Afghanistan, Angola, Bangladesh, Benin, Bhutan, Burkina Faso, Burundi, Cambodia, Central African Rep., Chad, Comoros, Democratic Republic of the Congo, Djibouti, Equatorial Guinea, Eritrea, Ethiopia, Gambia, Guinea, Guinea-Bissau, Haiti, Kiribati, Laos, Lesotho, Liberia, Madagascar, Malawi, Mali, Mauritania, Mozambique, Myanmar, Nepal, Niger, Rwanda, Samoa, Sao Tome and Principe, Senegal, Sierra Leone, Solomon Islands, Somalia, Sudan, Tanzania, Timor-Leste, Togo, Tuvalu, Uganda, Vanuatu, Yemen, Zambia

[Other Low Income Countries]

Kenya, D.P.R.Korea, Kyrgyz Rep., South Sudan, Tajikistan, Zimbabwe

<早稲田キャンパスマップ>



連絡先

早稲田大学大学院政治学研究科事務所
 TEL: 03(3203)6150 Fax: 03(3204)8957
 Email: gsps-admission@list.waseda.jp
 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1